

令和6年度第2回茨城県医療審議会

(同保健医療計画部会及び茨城県地域医療構想調整会議合同) 会議録

- 1 日時 令和7年2月27日(木) 15時00分から16時00分まで
- 2 場所 茨城県庁11階 1103会議室(Web会議(対面併用)として開催)
- 3 出席者 別添「参加者名簿」のとおり

4 議事

(1) 定足数の確認

事務局司会(医療政策課課長補佐 佐藤)は、医療審議会について委員総数21名に対し、出席委員19名であることを確認し、茨城県医療審議会運営要領(以下「要領」という。)第4条第2項に規定する定足数に達したことを宣した。また、保健医療計画部会について委員総数7名に対し、出席委員6名であることを確認し、要領第6条第4項において準用する第4条第2項に規定する定足数に達したことを宣した。

(2) 出席者の紹介

任期満了に伴う医療審議会委員の改選後初の開催となったため、医療審議会新任委員6名の紹介を行った。

茨城県医療審議会委員のほか、茨城県地域医療構想調整会議の構成員として各構想区域における調整会議の議長が出席していることを報告した。

(3) 事務局の紹介

病院事業管理者の軸屋、保健医療部長の丸山、保健医療部理事の砂押ほか、保健医療部及び福祉部、病院局の関係課長等が出席していることを報告した。

(4) 会議の公開

事務局司会は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

(5) 会長等の選任について

医療審議会の会長・会長代理については、各委員からの推薦により、会長には松崎委員、会長代理には榊委員が選任されたことを報告した。

医療法人部会の部会長・部会長代理については、2月19日開催の医療法人部会において、部会長には松崎委員、部会長代理には間瀬委員が選任されたことを報告した。

保健医療計画部会の部会長、部会長代理については、事務局一任のご意見により、事務局案として保健医療計画部会の部会長を松崎委員、部会長代理を榊委員にする案を示し、異議なく承認された。

(6) 議長の選任

要領第4条第1項の規定により、松崎会長が議長に就いた。

(7) 会議録署名人の指名

議長は、要領第11条第1項の規定に基づく会議録署名人に、間瀬委員及び草野委員を指名した。

(8) 議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換(別紙参照)が行われたのち、異議なく承認された。

● 審議事項

- (1) 会長等の選任について
- (2) 医師の働き方改革に係る特定労務管理対象機関の指定について(諮問)
- (3) 医療提供圏域に関する作業部会等の検討状況・今後の方針について

● 報告事項

- (1) 地域医療構想の推進について
- (2) 地域医療介護総合確保基金に係る令和7年度要望事業について
- (3) 病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について
- (4) 令和6年度の医療法人部会における調査審議結果について
- (5) 令和5年度地域医療支援病院の業務実績報告について
- (6) CTやMRIなどの医療機器の共同利用について
- (7) 令和6年度医師派遣調整の状況について
- (8) 茨城県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
- (9) 水戸保健医療圏の病院再編の方針について

以上をもって全ての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和7年3月18日

茨城県医療審議会会長

松崎 信夫

会議録署名人

間瀬 寛太郎

会議録署名人

草野 朋子

令和6年度 第2回 茨城県医療審議会
(同保健医療計画部会 及び 茨城県地域医療構想調整会議 合同)

参加者名簿

○ 委員

区 分		役 職 名	氏 名	摘 要
医師・ 歯科医師・ 薬剤師	医師会	茨城県医師会会長	松 崎 信 夫	会議室出席
	医師会	茨城県医師会副会長	間 瀬 憲多朗	会議室出席
	歯科医師会	茨城県歯科医師会会長	榊 正 幸	オンライン参加
	薬剤師会	茨城県薬剤師会副会長	草 野 朋 子	オンライン参加
	病院協会	茨城県病院協会会長	塚 田 篤 郎	会議室出席
医療を受ける立場にある者	市町村	茨城県市長会会長	高 橋 靖	オンライン参加
	保険者	茨城県国民健康保険団体連合会常務理事	森 田 達 也	オンライン参加
	被保険者(福祉)	茨城県社会福祉協議会副会長	榊 原 利 至	オンライン参加
	被保険者(介護)	茨城県介護支援専門員協会副会長	浅 野 有 子	会議室出席
	被保険者(女性)	茨城県女性団体連盟会長	本 多 美知子	オンライン参加
	被保険者(生協)	茨城県生活協同組合連合会副会長理事	青 木 恭 代	オンライン参加
学識経験のある者	医学	筑波大学副学長・理事・附属病院長	平 松 祐 司	オンライン参加
	公衆衛生	筑波大学教授	我 妻 ゆき子	オンライン参加
	地域医療	筑波大学教授	田 宮 菜奈子	オンライン参加
	看護	茨城県看護協会会長	白 川 洋 子	欠 席
	栄養管理	茨城県栄養士会常務理事	鈴 木 薫 子	オンライン参加
	救急業務	茨城県消防長会会長	大 信 成 人	オンライン参加
	地域医療	茨城県訪問看護事業協議会会長	後 藤 則 子	オンライン参加
	介護	茨城県介護福祉士会副会長	大兼久 つかね	オンライン参加
	法律	弁護士	上 畠 佳 子	欠 席
	その他	茨城県議会議員	川 津 隆	会議室出席

○ 専門委員

役 職 名	氏 名	摘 要
筑波大学執行役員	原 晃	オンライン参加

○ 各構想区域調整会議議長等

役 職 名	氏 名	摘 要
水戸地域医療構想調整会議議長 (水戸市医師会会長)	細 田 弥太郎	オンライン参加
日立地域医療構想調整会議議長 (多賀医師会長)	横 倉 稔 明	オンライン参加
常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議議長 代理 (ひたちなか保健所長)	金 本 真 也	オンライン参加
鹿行地域医療構想調整会議議長 代理 (潮来保健所長)	緒 方 剛	オンライン参加
土浦地域医療構想調整会議議長 (土浦市医師会長)	塚 田 篤 郎	会議室出席
つくば地域医療構想調整会議議長 (つくば市医師会長)	成 島 淨	オンライン参加
取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議議長 代理 (竜ヶ崎保健所長)	石 田 久美子	オンライン参加
筑西・下妻地域医療構想調整会議議長 (真壁医師会長)	榎 戸 久	オンライン参加
古河・坂東地域医療構想調整会議議長 代理 (古河保健所長)	大 谷 幹 伸	オンライン参加

○ 事務局（茨城県）

役 職 名	氏 名	摘 要
保健医療部長	丸 山 慧	会議室出席
保健医療部理事兼次長兼医療局長	砂 押 道 大	会議室出席
保健医療部企画室長	村 上 信 吾	会議室出席
保健医療部保健政策課長	小 野 幸 子	会議室出席
保健医療部健康推進課長	石 川 裕 子	会議室出席
保健医療部健康推進課 地域包括ケア推進室長	大 澤 和 則	会議室出席
保健医療部疾病対策課長	武 村 知 己	会議室出席
保健医療部疾病対策課 感染症対策室長	増 田 淳 行	会議室出席
保健医療部疾病対策課 がん・循環器病対策推進室長	益 子 徹	会議室出席
保健医療部生活衛生課長	仁 藤 健 二	会議室出席
保健医療部医療局医療政策課長	江 寺 広 行	会議室出席
保健医療部医療提供体制再編担当課長	浅 野 裕 之	会議室出席
保健医療部医療局医療人材課長	大 高 めぐみ	会議室出席
保健医療部医療局薬務課長	塙 清 美	会議室出席
福祉部障害福祉課長	森 田 教 司	オンライン参加
福祉部子ども政策局少子化対策課長	楊 箒 幸 恵	オンライン参加
福祉部子ども政策局子ども未来課長	菊 地 みち子	オンライン参加
病院局病院事業管理者	軸 屋 智 昭	会議室出席
病院局長	酒 井 和 二	会議室出席
病院局経営管理課長	丹 茂 樹	会議室出席
病院局経営管理課企画室長	岡 崎 一 裕	会議室出席

令和6年度第2回茨城県医療審議会
(同保健医療計画部会及び茨城県地域医療構想調整会議合同)
質疑応答要旨

日時：令和7年2月27日（木）
15時00分から16時00分まで
場所：茨城県庁11階1103会議室
(Web会議（対面併用）として開催)

●審議事項

- (1) 会長等の選任について
- (2) 医師の働き方改革に係る特定労務管理対象機関の指定について（諮問）

松崎会長 県知事から諮問があった医師の働き方改革に係る特定労務管理対象機関の指定について、当審議会として適当である旨を答申してよろしいか。

～異議なく承認～

- (3) 医療提供圏域に関する作業部会等の検討状況・今後の方針について

●報告事項

- (1) 地域医療構想の推進について
- (2) 地域医療介護総合確保基金に係る令和7年度要望事業について
- (3) 病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について
- (4) 令和6年度の医療法人部会における調査審議結果について
- (5) 令和5年度地域医療支援病院の業務実績報告について
- (6) CTやMRIなどの医療機器の共同利用について
- (7) 令和6年度医師派遣調整の状況について
- (8) 茨城県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
- (9) 水戸保健医療圏の病院再編の方針について

間瀬委員 拠点病院の機能分化・集約において、県立病院にはがん、小児、周産期を集約し、公的病院に関しては、これ以外の医療の集約化という意味なのか。それとも、がん医療などを含めた集約化を4病院で検討していくのか、どういう状況になっているのか。

医療提供体制再編担当課長 県立の拠点病院にがん、小児、周産期としているが、これは現在、県立こども病院と県立中央病院が果たしている役割を中心に記載している。それ以外の高度医療の分野である循環器、脳卒中、救急などについては、6病院の中で役割を決めていきたいと考えている。こちらについては、水戸地域医療構想調整会議とその下に設置されている6病院の再編統合に関するワーキンググループ

ープの中で、役割分担や内容について検討し固めていきたいと考えている。

間瀬委員 資料74ページの図に関しては、現在の県立中央病院と県立こども病院が持っている機能を記載したもので、今後の役割分担については検討していくということか。

医療提供体制再編担当課長 県立と公的の2つの拠点病院を中心に高度医療を集約していくという考えだが、具体的にはご指摘の通り、今後議論を進めていく。

塚田委員 医師派遣を担う筑波大学に聞きたい。筑波大学から人員を派遣するわけだが、高度医療だけでも多くの科がある。各診療科と病院との関連など、大学では大きなランドデザインがあるか。

平松委員 現時点では、県立中央病院はがんセンターの役割を担っており、小児周産期に関してはこども病院が役割を担っている。ここが基軸となり、それ以外に関しては、今後、6病院の中で議論をしていくことになる。筑波大学としては、すべての診療科において、いくつもの病院に分散して医師を派遣していくことは、非常に困難になってきているため、できるだけ合理的な形で機能再編をしていく。大筋に関してはすべての診療科が合意しているところではあるが、現時点ではここまでしか申し上げられない。

松崎会長 大まかな方針を県で示し、内容についても調整会議で合意を得ているという理解でよいか。詳細はこれから。

医療提供体制再編担当課長 詳細は今後議論していく。

その他全体を通した意見

浅野委員 (資料46ページ) 地域医療介護総合確保基金により、茨城県内のさまざまな課題が改善されていることは感謝している。介護部門の計画に、地域密着型老人福祉施設整備と老人福祉施設開設準備経費助成事業に10億の支出が予定されている。介護従事者等の確保に関する事業については3億6000万。茨城県は介護保険の状況を見ると、施設介護を受けている人の割合が多い県と認識している。これから介護保険の自己負担が2割というような議論がされたところでは、施設を希望される方が今後増えるのだろうかと思っている。現に、県内の施設では待機者の減少や、定員を満たさない福祉施設もあると聞いている。施設やサービス付き高齢者住居に入るとかかりつけ医との関係も切れてしまう。今後、在宅における地域包括ケアや在宅医療の推進により、入院せず、施設に入らず、その人らしく地域で暮らすための在宅生活支援の人材や資源の充実などの応援をお願いしたい。

松崎会長 県医師会としても、引き続き県と一緒に地域包括ケアシステム、各地域の情勢を図るように、深化を図るように事業をすすめていく。事務局から何かあるか。

医療政策課 今いただいた意見を担当につなぎ、適切に対応していく。